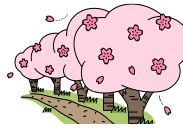




学校教育目標

西陵だより

「開拓」創造・協力・根気・健康



学校だより

No. 7

令和8年3月25日
札幌市立西陵中学校

「開拓」に込められた思い

校長 横川 広志

うらかな日差しに春の訪れを感じる今日この頃、学校は別れと巣立ちの季節を迎えました。去る3月13日に行われた第52回卒業証書授与式において、希望を胸に154名の卒業生が堂々と胸を張って本校を卒業していきました。卒業式式辞では、卒業生への贈る言葉であると同時に1, 2年生の皆さんにも本校の教育目標である「開拓」に込められた思いを共有したいと考え次のようなお話をさせて頂きました。

(第52回卒業証書授与式 式辞より、学校目標「開拓」に込められた思いの部分のみ抜粋)

『さて、今日皆さんが去り行くこの体育館に掲げられた、たった二文字の言葉「開拓」。卒業した後、学校目標をふと思い出すことは少ないかもしれません。しかし、本校の魂であるこの「開拓」という言葉に込められた思いだけは、皆さんの心の奥底に留めておいてほしいのです。かつてこの地を切り拓いた先人たちのように、荒れた土地を切り拓くという意味は、今の時代にはあてはまらないように感じるかもしれません。では、今の時代において「開拓」とするとはどういうことなのでしょう。みなさんが開拓するのは新しい「土地」ではなく、新しい「価値」です。

「みなさんの行動で、新しい価値を生み出すこと、みなさんの行動で、新しい環境を創り出すこと」です。

これから先の人生は、毎日が順調というわけにはいかないでしょう。思い通りにいかない現実と直面するときに繰り返しやってきます。そんなときは「環境が悪い」「自分には無理だ」と、周囲のせいをしたり、自分の素質をうたがったりする気持ちが心に湧いてくるかもしれません。しかし、そんなときこそ思い出してください。

未来は「待つもの」ではなく、「創るもの」です。

居心地が悪いと思うなら、そこを自ら耕せばいい。何もないと嘆くなら、自ら生み出すことを願い種を蒔けばいい。そして、水をやり、花を咲かせるまで諦めない。もちろんみなさんが耕すのは土地ではなく、価値です。

「新しい価値を生み出し、新しい環境を作り出すこと」です。土地を耕す道具は鍬やスコップですが、新しい価値を生み出し、環境を変える道具は何でしょうか。私は、「言葉」と「継続」だと考えます。すなわち、思いを言葉にして伝えること、小さな行動を続けることです。言葉には力があります。続けることには力があります。

西陵中のみなさんがたくさん持っているすばらしい宝石を美しい言葉にして惜しみなくばら撒いてください。みなさんの仲間を大切にする優しさ、思いやる心をどんどん言葉にしてください。みなさんの湧き上がる情熱とそのエネルギーを粘り強く毎日毎日小さな行動につなげ、周りを熱くさせてください。思いを言葉にし、行動することを諦めないことで、ゆっくりと、しかし、確実に、みなさんを包む環境も変わって行きます。そして、何よりもみなさん自身が、大きく成長することでしょう。

これこそが、現代の「開拓」と私は信じます。』 — 以下、略 —

本日、3月25日の修了式をもちまして、令和7年度の西陵中学校の教育活動が概ね終了いたしました。保護者の皆様、地域の皆様、今年一年間、本校の教育活動に対して深いご理解と、心温まるご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。御挨拶とさせていただきます。